

あらたに九九八人、岩手は十一人を合葬

第六〇回無名戦士合葬追悼会



の意思を受け継ぎ、奮闘することを誓う」と挨拶しました。

このほか、日本共産党の緒方靖夫副委員長、全労連の柴田真佐子副議長、新日本婦人の会の高田公子会長もそれぞれ追悼の辞を述べました。遺族代表のあいさつも行なわれ、追悼会のおと、参列者は青山霊園まで葬送行進し、プレートを解放運動無

社会の進歩と革新、平和と民主主義を守る運動に参加して亡くなった人を追悼する「第六十回解放運動無名戦士合葬追悼会」が東京・日本青年館で開かれました。

今年の合葬者最高年齢は、百四歳、最年少は十九歳です。これで第一回追悼会以来の合葬者総数は、三万四千二百二十二となりま



今年も三・一八募金に、ご協力くださいましたみなさん！本当に有難うございました。

盛岡

「春の鶴彬の集い」

反戦川柳作家、鶴彬(つる・あきら)

に思いをはせる「春の集い」が三月十五日、盛岡市にある光照寺の墓前で開かれました。

主催したのは、鶴彬を語る盛岡の会、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟岩手県本部です。

労働組合や国民救援会などの民主団体から二十人が参加しました。

各地の運動紹介

北上

講演と映画の集い



北上市では、二月二十五日結成二周年を迎えた『北上九条の会』主催の、「講演と映画のつどい」が開かれました。

この集いには、市民ら約四十名が参加しました。

憲法九条が歴史の中で果たしてきた役割を描いたドキュメンタリー映画「戦争をしな

「手と足を もいだ丸太にしてかへし」などの作品は、戦前の軍国主義体制とたたかいた鶴彬の代表的な作品です。



この三月十五日は、小林多喜二の小説「一九二八年三月十五日」で暴露した三・一五弾圧事件があつ

た日でもあります。主催者を代表し、牛山靖夫語る会会長があいさつし、「鶴彬の志を受け継ぎ、実践していこう」との呼びかけが行なわれました。なお当日は、鶴彬のご親戚・喜多富美さんも参加しました。

本が侵略戦争の反省と日本国民の願いから憲法九条を生み出しその基礎をつくりあげたことが紹介されました。

また沖繩をはじめ、安保条約によって日本は米軍基地の重圧に苦しんでいること。改憲されれば海外での武力行使が可能となりアメリカとともに「戦争する国」となること訴えました。

また、中国・三门峡市の短大講師に赴任した川島茂裕代表が中国での活動を報告、憲法九条をもとにした東アジア外交の重要性を訴えました。

主な活動経過報告

- 〇七・一・一〇 いわて労連・春新春びらき
- 一・一九 盛岡精神病院従組裁判・第八回口頭弁論(十一時〜盛岡地裁)
- 一・三〇 生健会・年金者組合・救援会合同新年会(つどいの森)
- 二・二〜三 第十四回中央救援学校(東京・平和と労働センター)
- 二・三〜四 第五〇回中央委員会(東京・平和と労働センター)
- 二・九 第四回常任委員会
- 二・一〇 講演会「あぶない！言論の自由が…」宇治橋眞一氏(一関支部)
- 二・二四 春節を祝う会；中国残留日本人孤児支援(午後一時〜四時・上田公民館)
- 二・二六 学生無年金障害者岩手訴訟控訴審(午後一時・仙台高裁)
- 三・二 第五回常任委員会
- 三・三 岩手に春を呼ぶ「県民総決起集会」(午後一時十五分から県公会堂)
- 三・九 盛岡精神病院従組裁判・第九回口頭弁論(十一時〜盛岡地裁)
- 三・一五 春の鶴彬の集い(鶴彬の墓前)
- 三・一八 第六〇回解放運動無名戦士合葬追悼会(東京・日本青年館・青山墓地)

